

薬学研究科履修要項

I. 修業年限

標準修業年限は4年とする。ただし、大学院学則第15条（在学期間の短縮）に該当する場合を除く。

II. 修了要件

在学期間中に、下記の授業科目の単位を30単位以上修得し、かつ、学位論文を提出して、その審査及び最終試験に合格し、博士（薬学）の学位を取得した者を修了とする。

■研究倫理教育 APRIN(e ラーニング)

研究倫理の基礎を学ぶため、原則として1～2年次に研究倫理教育 APRIN（e ラーニング）を受講すること。受講項目は「01 責任ある研究行為：基盤版」の①責任ある研究行為について、②研究における不正行為、③データの扱い、④オーサーシップ、⑤盗用、⑥公的研究資金の取扱いの6単元とする。全て修了した後、受講修了証を印刷し、学事部へ提出すること。

■医療人教育演習（プレFD）

将来、卒前・卒後教育において根拠に基づく教育に提供し、生涯にわたって活躍できる医療人を育成する為に、1年次は教育に関するワークショップ、2・3年次は学部連携 PBL 等に参加する。

III. 履修方法

下記に記載した表に基づいて履修すること。

科 目	薬 学 専 攻
専門科目（薬学研究課題）※3	20単位
専門科目（輪講）※3	5単位
講義科目 ※1、※2	5単位以上
計	30単位以上

1) 専門科目※3（薬学研究課題、輪講）は、所属講座で履修すること。

2) 講義科目（薬学研究科科目※1 全研究科共通科目※2）

必修科目－2単位

科 目	単位	
（全研究科共通科目） 医学生物学における統計学的解析法	1	必修
（薬学研究科科目） Research Article English	1	必修
計	2	

講義科目（薬学研究科科目※1 全研究科共通科目※2）

選択科目－3単位以上を選択必修とする。

薬学研究科科目 ※1	科目責任者	単位	選択
疾患解明の先端科学	板部 洋之	1	
臨床研究概論	岩井 信市	1	
感染制御薬学	石野 敬子	1	
生理・薬理学領域基礎研究の流れ ～研究立案から論文掲載までの流れを学ぶ～	野部 浩司	1	
薬物治療学特論	向後 麻里	1	
個別化製剤概論	原田 努	1	
救急・集中治療薬学	亀井 大輔	1	
がん薬物療法学	藤田 健一	1	
薬学的がんケア学	縄田 修一	1	
生体高分子の構造解析法	合田 浩明	1	
薬学的医療マネジメント学	縄田 修一	1	
病院薬剤学特論	渡邊 徹	1	
病院薬剤師が行う臨床研究	百 賢二	1	

薬学における量的研究と質的研究	岸本 桂子	1	選択
Clinical and Research English プレゼンテーションコース ※歯学研究科科目	M マイヤース	1	
計		15	

全研究科共通科目 ※2	単位	選択
生体の病理病態学的解析法	1	
生体の組織構造解析法	1	
生体の機能解析法	1	
生体の物質分析法	1	
分子生命科学的解析法	1	
4 大学院がんチーム医療	1	
計	6	

IV. 学位論文の提出

学位論文は以下の条件を全て満たした者が申請できる。

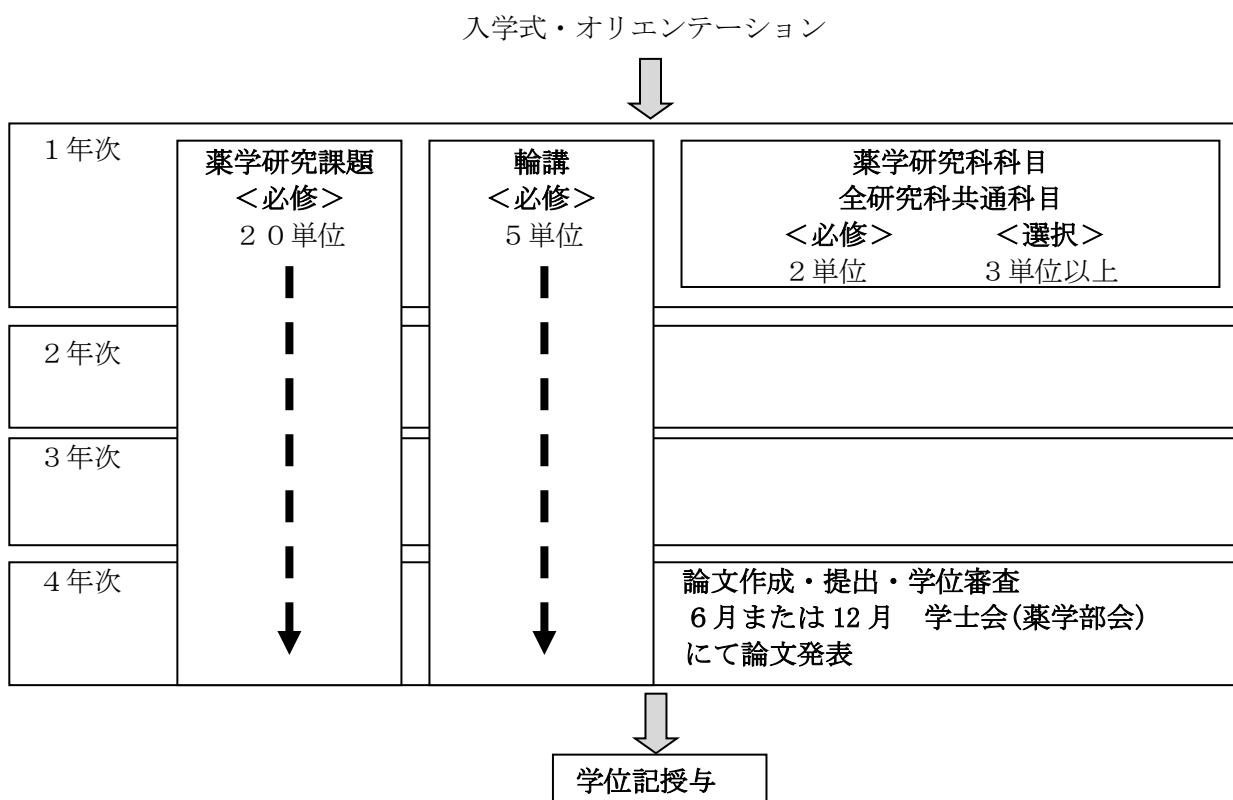
- ①修了要件単位（30 単位以上）を修得した者
- ②研究倫理教育 APRIN（e ラーニング）の所定の単元を全て修了した者
- ③医療人教育演習（プレ FD）に参加した者
- ④学士会（薬学部会等）での論文発表が終了している者

学位の申請にあたっては、学位申請手続用紙に必要事項を記入し、必要書類をそろえて学事部大学院課(旗の台キャンパス)に提出すること。

V. 学位記授与

学位記授与は春季入学者に対しては3月、秋季入学者に対しては9月に行うこととする。
ただし、修了延期・早期修了はこの限りではない。

<入学から学位取得までの流れの一例>



附 則

- 1 この履修要項は2021年4月1日在学者から適用する。
- 2 大学院生の履修について、昭和大学大学院学則、昭和大学学位規則、大学院研究科学位申請に関する内規およびこの履修要項に定められていない事項は研究科教授会の議を経てこれを定める。
- 3 この履修要項の変更は研究科教授会の議を経て行う。